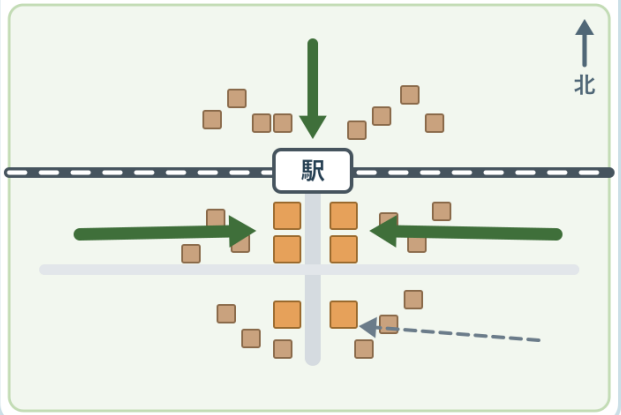
駅前の空き店舗とまちのつくり方（架空の都市）

郊外に大きな店や住宅地が広がると、なぜ駅前の商店街に空き店舗が増えるのか

店　空き店舗　住宅　大型店　人の流れ（歩き・電車・バス）　車の流れ　　矢印の太さ＝人や車の多さの目安

1 以前：駅前に店と家が集まる



暮らしやすさ（○）と課題（△）

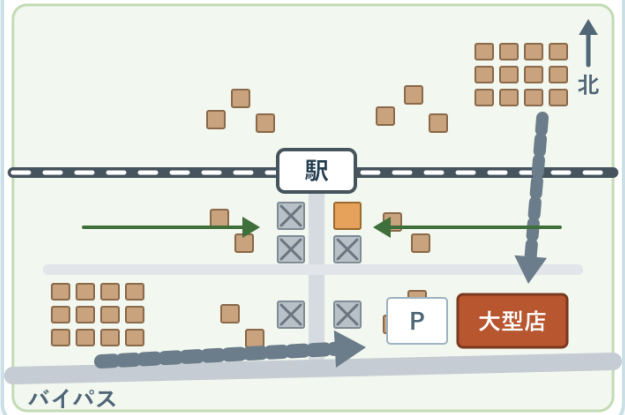
○ **歩く人**
近くの駅前で、歩いて買い物

○ **駅前の商店**
多くの客が来る

△ **車を使う人**
道がせまく、駐車しにくい

△ **家を建てたい人**
駅の近くは土地が少ない

2 郊外化：車で郊外へ



暮らしやすさ（○）と課題（△）

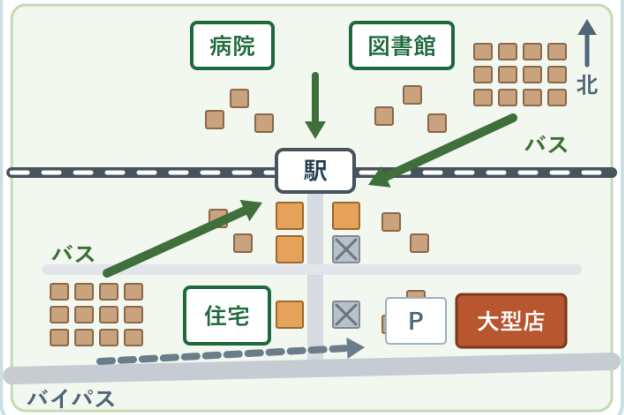
○ **車を使う人**
広い店でまとめて買える

△ **車を使えない人**
店や病院が遠く不便

△ **駅前の商店**
客が減り、空き店舗がふえる

△ **市**
道路や上下水道を保つ費用がふえる

3 まちなかに集める取り組み（例）



暮らしやすさ（○）と課題（△）

○ **車を使えない人**
歩きやバスで暮らせる

○ **市**
道路や上下水道を保つ範囲をしぼれる

△ **郊外に住む人**
移り住む負担・通う時間

△ **市・住民**
費用と、話し合い・合意が必要

※ 架空の都市の模式図。矢印の太さは多さの目安。③は取り組みの一例で、ほかの案もある。